

シリーズ
**環境を
考えよう!**
No. 1

**チャレンジ25
キャンペーン**

市報いしのまき5月号(12ページ)で紹介した「チャレンジ25キャンペーン」では、チャレンジごとに、具体的な「アクション」を提案しています。

温室効果ガス排出量25%削減には、身近な暮らしの中で、私たち一人ひとりの実践が重要です。

今回は「チャレンジ1」の9つのアクションを紹介しますので、ぜひ、家庭、オフィス、地域で取り組みましょう。

★チャレンジ1★
【エコな生活スタイルを選択しよう】

日々のちょっとした気遣いが積み重なれば、CO2の削減効果は大きく違ってきます。無理なく無駄がない生活にチャレンジしていきましょう。

- ①夏は冷房の温度を28℃に、冬は暖房の温度を20℃に設定しよう
- ②照明やOA機器などのスイッチオフを心掛けよう
- ③出掛ける際は、バスや電車、自転車など環境に優しい交通機関を利用しよう
- ④蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心掛けよう
- ⑤環境家計簿、リアルタイムにCO2排出量が見られる省エネナビを使って、「CO2排出量の見える化」をしよう
- ⑥エコドライブを実践しよう
- ⑦シャワーを使う時間を短くしよう
- ⑧エコクッキングを実践しよう
- ⑨マイバッグ、マイボトルを持ち歩こう

5) 問 環境対策課(内線336)



5月30日から6月5日は
**「ごみ減量・リサイクル
推進週間」です!**



廃棄物の減量化や再生利用を促進するため、市民・事業所・行政が連携し、今まで以上にごみの減量および資源化に向けた取り組みが必要となつていきます。

これまでの「使い捨て社会」の流れを、ごみを減らして資源やものを大切に使う「循環型社会」に変えていかなければなりません。

みんなで循環型社会を作るために、リサイクルに取り組みましょう。

市ではごみ減量化・資源化のため、再生資源集団回収報奨金制度や生ごみ減量容器購入費補助制度がありますので、ぜひ、ご活用ください。

◇再生資源集団回収報奨金
集団資源回収を実施する団体・グループ(子ども会・町内会・PTA・老人クラブなど)の皆さんに、報奨金を交付しています。

制度を利用するには、団体登録が必要です。

回収品目 新聞・雑誌・段ボール、1升びん・ビールびん、アルミ缶・スチール缶

補助金額 品目ごとに1kg3円とし、1升びんは1本1kg、ビールびんは1本0.5kg換算とします。(業者への売り払い金とは別になります)



スリーアール 3Rでゴミ減量



ゴミを減らすためのキーワードは3R

エコに関する用語でよく耳にする「3R」は、ゴミ減量に関する3つの単語の頭文字です。

この「3R」には、順番があるのを知っていますか？

3つのRの意味をもう一度理解し、普段の生活を見直してみましよう。

今回は、暮らしの中でできるReduce:リデュースについて紹介します。

問 廃棄物対策課(内線3373)

優先順位①

はじめは **リデュース:Reduce**
ごみの発生を減らす



ゴミを減らす一番大切な方法はゴミを出さないこと。できるだけゴミは作らない。無駄なものは買わない、もらわないようにしましょう。

優先順位②

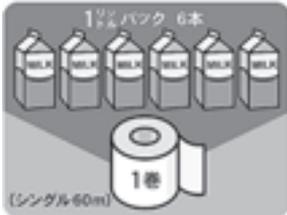
次に **リユース:Reuse**
ものを繰り返し使う



不用になったものをごみとしてすぐ捨てるのではなく、洗ったり直したりして繰り返し大切に使いましよう。

優先順位③

最後に **リサイクル:Recycle**
ものを資源として再利用



使い終わったものをごみとして捨てる時は、大切な資源として生かせるよう、ルールに従って分別しリサイクルルートに乗せましよう。

補助対象容器・補助金額

| 名称 | 生ゴミ減量容器 (コンポスト) | 発酵容器 (EM発酵容器) | 家庭用電気式 生ゴミ処理機 |
|-------|--|--|---|
| 簡単な説明 | | | |
| 補助金額 | 土の中の微生物を使い堆肥化する容器です。 | 密閉状態で働く微生物(EM菌)を使い堆肥化する容器です。 | 電気を使用して減量・堆肥化するための機械です。 |
| 補助要件 | 購入金額の2分の1 (100円未満切り捨て) 上限 3,000円 | 容器を2個以上購入した方に、 容器1個分 上限 2,000円 | 購入金額の2分の1 (100円未満切り捨て) 上限 25,000円 |
| 取扱店 | 市内に住所を有し、引き続き居住している方 | JA いしのまき・(株)鈴徳商店・※アニュー石巻店・※新沼金物店(株)・※(有)あいたけ・武山洋品店・※(株)水沢種苗店・みやぎ生協市内各店・ホームック市内各店・ピバホーム石巻店 (※印はEM発酵容器のみの取扱店) | 市内の電気式生ゴミ処理機取扱店 |

◇家庭用生ゴミ減量容器補助金
生ゴミの減量化・循環型社会の形成の一環として、市では、自宅で生ゴミの減量化・堆肥化をしようとする方を支援することを目的に、補助金を交付します。

◇申込方法などの詳しい内容は、お問い合わせいただくか市のホームページをご覧ください。

申・問 廃棄物対策課(内線3373)・各総合支所市民生活課